

2017
Apr.
Vol. 41

一般社団法人栃木県診療放射線技師会
情報誌

あすたーと

SLと菜の花（真岡鐵道）



■「SL・桜・菜の花街道」と呼ばれる北真岡駅（真岡鐵道）の東側は、桜と菜の花とSLがコラボした絶景を望めるスポットとして知られています。真岡鐵道は毎週末にSL（もおか号）が走る、日本で唯一の非電化ローカル線で架線がないため、写真撮影には最適です。真岡市内で開催される一万本桜まつりの時期に、一度は見ておきたい光景です。

CONTENTS

■ 巻頭言	「人材」と「人財」について考える	2
■ 会告	第93回 定時社員総会開催について	3
■ 会告	平成29年度 第1回卒後教育講座開催について	5
■ 会告	第5回 業務拡大に伴う統一講習会開催について	6
■ 会告	平成29年度 フレッシュヤーズセミナー開催について	7
■ 報告	平成28年度 第3回 卒後教育講座開催報告	9
■ 報告	第12回 学術研究発表会開催報告	10
■ 報告	平成28年度 第2回 第1地区卒後教育講座開催報告	14
■ 報告	平成28年度 第2回 第2地区卒後教育講座開催報告	15
■ 報告	平成28年度 第2回 第3地区卒後教育講座開催報告	16
■ 報告	平成28年度 第2回 第4地区卒後教育講座開催報告	17
■ 報告	平成28年度 第2回 第5地区卒後教育講座開催報告	18
■ 事務局報告		19
■ INFORMATION		20

「人材」と「人財」について考える



一般社団法人 栃木県診療放射線技師会
会 長 小 黒 清

「人材」を国語辞典で調べると、才能があり役に立つ人。有能な人物。人才。とあります。「材」という漢字は「材料」の「材」ではなく、「材木」の「材」です。「まっすぐで建築などに有用な木」のことを意味し、「人」は「木」のように成長し、年輪を重ね、成長していくものであるという考え方で、そして「人材」とは企業にとって貴重な能力を持った社員、貢献してくれる社員といった意味であり、全ての従業員が人材であることが理想であるとされています。

また、最近、新聞や雑誌などで「人材」ではなく「人財」という漢字を用いているのを目にすることが多くなりました。この「人財」は国語辞典には載っていないので当て字であることが分かります。

では、なぜ「人財」という漢字が用いられるようになったのでしょうか。調べてみると「人財」という言葉は海外から輸入された概念を和訳したものらしく、人材の「ヒューマンリソース」に対して、人財は「ヒューマンキャピタル」人的資本とありました。人的資本とは人間が持つ能力（例えば知識、技能、資格、学歴など）を資本として考えることを指すようで、このマンパワーを「財産」と捉えた考え方のようです。「財」とは「たから」です。その企業や組織にとって、全ての従業員が「たから」であり「人財」です。これからは「人材」を「人財」と表現していくことを提案させていただきます。

我々診療放射線技師が働く病院では、最新の医療機器が多く設置されており、それを使いこなす高度な知識と技術を持った診療放射線技師が必要になっているのが現状だと思います。

したがって、診療放射線技師は「人財」であり、これからは「人財育成」をしていくことが非常に重要になってくると思います。

昨年度、少しでも県内の各施設の皆さまのお役に立てたらと思い、職場における人材育成をテーマに「技師長サミット」を開催しました。県内各施設の管理職（役職者）に集まっていただき、意見交換が出来たことで、いろいろな施設の方々とのネットワークが広がったような気がします。

今後は、管理職自身の人財育成も必要になってくる時代であります。今まで管理職としてどのようにしたらよいか研修を受けてきたわけではあまりありません。例えば、ハラスメント対策や放射線検査・治療に関する診療報酬による収益なども理解し、管理職としてもっと成長することが求められると思います。

これからも県内各施設の管理職の方々を対象に「技師長サミット」を開催し、人財育成について啓蒙していければと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願いします。

第93回 定時社員総会開催について

平成29年度一般社団法人栃木県診療放射線技師会第93回定時社員総会を定款第14条に基づき、下記のとおり開催いたします。

記

日 時：平成29年5月27日(土) 16時45分開会（16時30分受付）

会 場：獨協医科大学 臨床医学棟10階講堂

（栃木県下都賀郡壬生町北小林880 電話：0282-86-1111(代)）

（アクセス：<http://www.dokkyomed.ac.jp/access.html>）

次 第：1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 表 彰（20年・35年勤続功労表彰）

4. 総会運営委員会報告

5. 議長選出

6. 書記及び議事録署名人選出

7. 議 事

第1号議案 平成28年度事業報告

第2号議案 平成28年度会計決算報告

第3号議案 平成28年度監査報告

第4号議案 平成29年度事業計画・収支予算書（報告事項）

第5号議案 その他

第6号議案 平成29・30年度役員選挙

8. 閉会

以 上

*総会に出席の際は、別送の総会資料をお持ちください。

*定款第18条により、総会の成立には会員の過半数の出席が必要となります。

*欠席される方は、書面表決または委任状の提出をお願いいたします。

平成29年度 第1回卒後教育講座開催について

平成29年度第1回卒後教育講座を開催いたします。万障お繰り合わせのうえご参加くださいますようお願い申し上げます。

日 時：平成29年5月27日(土) 15時00分開会 (14時30分受付)

会 場：獨協医科大学 臨床医学棟10階講堂

(栃木県下都賀郡壬生町北小林880 電話：0282-86-1111(代))

(アクセス：<http://www.dokkyomed.ac.jp/access.html>)

講座内容

講 演：「画像診断学の基礎（脳・神経、頭頸部）」

講 師：国際医療福祉大学

保健医療学部 放射線・情報科学科

准教授 樋口 清孝 先生

参加費：会員及び今年度に技師免許を取得した方 無料
非会員 3,000円

*日診放技の学術研修カウントが付与されますので、会員カードを持参ください。

*お車でお越しの方は、外来駐車場に駐車してください。駐車料金が無料となる手続きをします。駐車券を忘れずにご持参ください。

第5回業務拡大に伴う 統一講習会開催について(栃木県開催)

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、本会の諸事業に対し、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成26年6月18日に診療放射線技師法の一部改正が行われ、平成27年4月1日に施行となりました。この改正により診療放射線技師の業務範囲が拡大され、CTやMRI検査等での自動注入器による造影剤の注入、造影剤注入後の抜針・止血、下部消化管検査の実施（肛門にカテーテルを挿入する行為を含む）、画像誘導放射線治療時の腸内ガスの吸引のためのカテーテル挿入の実施が可能となりました。これら新たな業務の研修に関する留意事項として、診療放射線技師の養成課程において新たな業務に係る教育を受けていない診療放射線技師については、医療安全確保の観点から、新たな業務を行うのに先立ち、公益社団法人日本診療放射線技師会が実施する研修を受け、達成目標に到達する必要があることが明記されております。

つきましては、昨年度に引き続き下記のとおり「業務拡大に伴う統一講習会」を開催いたしますので、未受講の会員の方は受講くださいますようお願い申し上げます。

謹白

記

開催日：平成29年7月16日(日)、17日(月)の2日間

会場：獨協医科大学 120番教室

(栃木県下都賀郡壬生町北小林880)

定員：60名

受講料：15,000円（会員）

60,000円（非会員）

但し、静脈注射（針刺しを除く）に関する講習会と注腸X線検査臨床研修統一講習会修了者は受講料が異なりますのでJARTホームページで確認してください。

申込方法：JART情報システムの利用登録から申し込みください。

申込期間：平成29年5月未定

注意事項：BLS実習に適した動きやすい服装、靴で参加ください。

獨協医科大学の学生食堂は営業しておりませんので、各自で昼食のご用意をお願いいたします。

平成29年度 フレッシューズセミナー開催について ～皆様の職場の新人にご紹介ください～

診療放射線技師としての一步を踏み出すみなさまを応援する充実したプログラムとなっております。

診療の現場や職場におけるコミュニケーションづくりなど、技師として知っておきたい基礎知識の習得に役立ちます。

この機会に是非ご参加いただきますよう、お勧めください。

記

日 時：平成29年5月28日(日) 9:00～16:00

開催場所：獨協医科大学病院 教育医療棟6階 シミュレーション講義室Ⅰ

対 象：新卒者もしくは卒後2年目までの新人技師（非会員の方も歓迎）

内 容：エチケットマナー・医療安全・感染対策・気管支解剖など、
現場ですぐに役立つ知識

参 加 費：無料

*参加者には昼食がつきます

アクセス

【電車を利用する場合】 東武宇都宮線「おもちゃのまち駅」下車

西口よりバス3分 徒歩10分

もしくは、JR宇都宮線「石橋駅」からタクシーにて15分

【高速道路を利用する場合】 東北自動車道から栃木都賀JCT経由

北関東自動車道「壬生IC」から直進3分

*お車でお越しの方は、病院の外来駐車場をご利用ください。

無料手続きをしますので、必ず駐車券を持参してください。

報告

開催報告

平成28年度 第3回卒後教育講座開催報告

■日時：平成29年3月5日(日) 12:50～

■会場：獨協医科大学 創立30周年記念館 関湊記念ホール

■参加人数：135名（会員107名、他28名）

講演

「救急医療における救急撮影認定技師の役割 ～救急医が求めるもの～」

【講師】 自治医科大学 救急医学講座 講師 米川 力先生



自治医科大学 米川 力先生

二十四節気の一つ「啓蟄」にあたる3月5日、平成28年度第3回卒後教育講座が獨協医科大学創立30周年記念館関湊記念ホールにて、参加者135名（非会

員、学生を含む）と多数の参加にて開催されました。今回は、「救急医療における救急撮影認定技師の役割～救急医が求めるもの～」と題して、自治医科大学救急医学講座講師の米川力先生に講演していただきました。

はじめに、救急撮影認定技師制度発足の経緯について、また、認定制度の目的、申請資格等についてのお話と、救急医療とは、常に緊急度の高さを見極めながら診療を進めていき、時間を重視して診療手順を認識することが重要であり、時間短縮、診療の質の向上、チーム医療における個々のレベルの高さが必要であることをわかりやすくお話ししていただきました。また、「君命有所不受」、「必以全争於天下」といった「孫子」からの言葉を引用して、現在の救急医療の現場におい

でのチーム医療のあり方にもあてはまることが多々あることや、上司と部下の優劣の組み合わせによる生産性の順位についての解説など、大変ユニークで興味深い内容となりました。

今回の講演で、救急医療における画像診断は、画像診断機器の性能向上によって、病状や損傷部位の詳細な把握を可能とし、重症度評価や治療方針の決定に影響を及ぼす画像を提供するという重要な役割を担っているため、救急診療に関する知識や医師はじめ他の医療職と意思疎通を図りながら連携して診療に関わる必要がある、と感じました。

最後に具体的な症例画像をいくつか提示され、詳しく解説していただき、感染予防や二次損傷の予防、患者急変時の対応など、救急診療における注意点についてお話ししていただき、終了となりました。

最後になりますが、大変お忙しい中貴重なお時間を割いて、また、当日は当直勤務あけであったとのことで、大変お疲れのところ御講演いただきました米川先生に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

学術部 三 原 健 二

第12回学術研究発表会 開催報告

■開催日時：平成29年3月5日(日)

■会場：獨協医科大学 関湊記念ホール

■参加人数：135名（会員118名、他17名）



開会の挨拶をする小黒会長

春の気配が感じられる暖かな日差しの中、獨協医科大学関湊記念ホールにて平成28年度第12回学術研究発表会が開催され、無事終了しました。皆様のご協力に感謝いたします。

参加者は、会員118名、非会員2名、学生15名の合計135名と年度末にも関わらず、多数の方に参加していただきました。

今回の研究発表は会員14演題、学生3演題の計17演題、また9月に岐阜県で開催されました第32回日本診療放射線技師学術大会の発表報告として7演題を発表していただきました。この場を借りてお礼を申し上げます。

発表は一般撮影、CT、MRI、RI、IVR、管理、治療、教育と内容は多岐にわたり、質疑応答にも熱が入り時間を超過してしまう場面もありました。また、途中ではプロジェクターのトラブル等もあり皆様にはご迷惑をおかけしました。次回の開催に生かしたいと思えます。

今回の学術奨励賞は、会員発表では獨協医科大学病院の手塚昭伍様、学生発表は国際医療福祉大学の小池笑也様が受賞されました。おめでとうございます。

最後になりましたが、開催に際しご協力いただきました皆様方に深くお礼申し上げます。引き続き多くの方々に参加していただける学術研究発表会となるよう、努力してきたいと思います。

ランチョンセミナー



学術部 佐藤 祐二

研究発表Ⅰ



座長の中野繁明 会員、笹沼幸則 会員

研究発表Ⅰの発表者



研究発表Ⅱ



座長の三浦孝明 会員

研究発表Ⅱの発表者



研究発表Ⅲ



研究発表Ⅲの発表者



研究発表Ⅳ



研究発表Ⅳの発表者



第32回 日本診療放射線技師学術大会（岐阜）発表報告



学術奨励賞 受賞者



獨協医科大学病院 手塚昭伍 会員 国際医療福祉大学(学生) 小池笑也 さん

報告

開催報告

平成28年度 第2回 第1地区卒後教育講座 開催報告

■開催日：平成29年2月17日(金)

■会場：国際医療福祉大学

■参加人数：39名（会員20名、学生19名）

■内容：「画像読影の基礎 ―消化器（肝疾患）―」

国際医療福祉大学 保健医療学部 放射線・情報科学科 准教授 樋口 清孝 先生

第69回診療放射線技師国家試験が間近に迫った2月17日(金)、平成28年度第2回第1地区卒後教育講座を国際医療福祉大学で開催しました。今回は、昨年度からシリーズ化された「画像読影の基礎」をテーマに、国際医療福祉大学 准教授 樋口清孝先生より「肝臓」の画像読影についてご講演をいただきました。

講演では、各モダリティで撮影・撮像した肝臓の疾患画像を閲覧し、聴講者が疾患を回答していく形式で進められました。回答後、画像の特徴やサインなどの解説をしていただくことで理解しやすい内容となっていました。また、画像所見と病態・病理を照らしながらの解説であったため非常にわかりやすく教えていただけたと感じています。会員の皆様には、ぜひ、明日からの仕事に生かしていただきたいと思いますと考えております。来年度のテーマも今から楽しみです。

会員20名、学生19名と今回も多くの方が参加をしていただきました。誠にありがとうございました。来年度も皆様の興味を惹くような内容を企画していきたいと思っていますので、多くの会員の参加をお待ちしています。結びに、ご講演いただきました国際医療福祉大学 樋口清孝先生に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



第1地区幹事 岡 野 員 人

平成28年度 第2回 第2地区卒後教育講座 開催報告

■開催日：平成29年2月4日(土)

■会場：獨協医科大学病院 教育医療棟7階シミュレーション講義室Ⅱ

■参加人数：22名

■内 容

1、会員発表「施設紹介」

上都賀総合病院 放射線科 山上 直也

2、メーカー講演 RSNA2016トピックス

- 1) 東芝メディカルシステムズ株式会社
- 2) シーメンスヘルスケア株式会社
- 3) GEヘルスケア・ジャパン株式会社
- 4) 株式会社フィリップス エレクトロニクス ジャパン

獨協医科大学病院にて第2回第2地区卒後教育講座が開催された。

今回は会員発表とメーカー講演を行い、まず会員発表として上都賀総合病院の山上会員による施設紹介が行われた。

上都賀総合病院は平成26年に建物が一新され、病床数は352床、救急医療、災害医療に備えてヘリポートも整備された。放射線科のスタッフは、診療放射線技師14名、放射線科医師は常勤1名、非常勤2名であり、CT、MR、RI検査の読影結果は検査当日に9割以上がPACSに送信され、電子カルテから参照可能になっている。また、建物の一新に伴い1階にセブンイレブンができ、その前にはラウンジが広がり、患者さんの憩いの場となっている。

RSNAは世界最大級の放射線学会であり、毎年アメリカのシカゴで開催されているが、今年の参加者は約49,000人で、一昨年が約56,000人、昨年在約52,000人と参加者が減少傾向にあり、その要因の一つはオンラインによる参加が可能になったことがあるといわれている。装置メーカー4社によるRSNA2016トピックスでは、CT、MRI、Angio装置等の最新技術とこれからの展望が紹介された。



第2地区副地区理事 金 田 幹 雄

報告

開催報告

平成28年度 第2回 第3地区卒後教育講座 開催報告

- 開催日時：平成29年 2月 9日(木) 18:30~19:30
- 会場：栃木県済生会宇都宮病院 グリーンホールA
- 参加人数：24名（会員24名）
- 内容：「読影補助に向けて－頭部病変（前回の復習）と血管病変」
済生会宇都宮病院 放射線科 医長 荒川 和清 先生

今回の講座は読影補助に向けて－頭部病変（前回の復習）と血管病変という内容にしました。

講演ではまず、画像診断実践編という流れの説明からはじまり、その後、今回準備していただいた頭部CTとMRI、血管病変における選択基準の説明がありました。

まず初めに、脳実質内結節（前回の残り）の講義から始まり、脳実質内の結節は疫学的に最多は脳転移であるということでした。

続いて原発巣・臨床症状の説明があり実際の画像の読影に入りました。

1症例目はよく造影される結節が多発している症例であり、2症例目は、腎障害がある単純MRI画像でした。

3症例目は79歳男性、不随意運動にて救急搬送された痙攣発作疑いという症例で、MRI所見で拡散強調画像で真っ白、ADC mapで真っ黒、出血に敏感なシーケンスで出血信号であり、以上の所見があると脳腫瘍であるという解説をしていただきました。

4症例目は65歳男性、1時間前より失語、麻痺なし頭痛と眼痛の訴えがある症例で、CT画像、MRI画像を順に読影していき脳動静脈奇形という解説をしていただきました。

続いて、大動脈瘤、大動脈解離、解離性大動脈瘤についての解説があり、血管病変の1症例目として、45歳男性、4日前に強い背部痛があり自然経過し徐々に増悪した症例で、CT画像を読影していき腹腔動脈解離という解説をしていただきました。

ポイントとして、孤立性腹部内臓動脈解離症例は91.3%が男性であると説明をしていただきました。

2症例目は急性腹症精査で依頼がきた上腸間膜動脈解離であり、3症例目は、下咽頭癌に対し化学放射線療法中で臥位になると嘔吐を繰り返すという症例で、CT画像を読影していき上腸間膜静脈血栓症という解説をしていただきました。

その後、肺動脈血栓症・脾動脈瘤・腎梗塞を合併した上腸間膜動脈血栓症・自己免疫性血管炎からの凝固異常による肝静脈血栓症・動脈に所見（脾動脈の仮性動脈瘤）のある消化性潰瘍・腎動脈血栓症、腎梗塞などの読影の解説をしていただきました。

そして、最後に前回の総復習として頭部病変の解説をしていただき終了となりました。

今回の読影補助の講演を聞き、画像診断を行ってみて、小さな所見をひろうことはとても難しいということを再認識させられ、かつ、血管病変になるとかなりしっかり読影しないと見落とす危険性があると思いました。

今後は頭部・血管病変に限らず、胸部・腹部領域に関しても行っていきたいと思います。

報告

開催報告

平成28年度 第2回 第4地区卒後教育講座 開催報告

■開催日時：平成29年 2月 4日(土) 15:00～16:00 ■会場：佐野市民病院 5F研修室

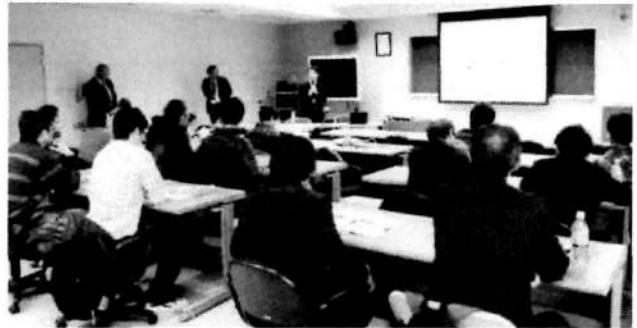
■参加人数：23名（会員23名）

■内容：「みえにくい」を「みやすい」に ～胸部 経時差分&肋骨減弱 紹介資料～

コニカミノルタジャパン(株) ヘルスケアカンパニー 北関東支店営業推進グループ 紀 宗利 先生

立春を迎える2月4日、まだなお寒さの続く中、今年度第2回目となる第4地区卒後教育講座が佐野市民病院において開催されました。今回の内容はコニカミノルタジャパン様が提供される『経時差分処理』及び『Bone Suppression処理』についてのご講演を聞かせていただきました。

今日の医療現場において肺や心臓など胸部の診断に欠かせない検査の一つに胸部単純X線検査があります。胸部X線検査は比較的簡易な撮影法であり、経時的に観察を要することが多く、読影する機会も必然的に多くあります。そこで、胸部単純X線画像の読影を補助的に支援し、効率を上げることのできる『経時差分処理』及び『Bone Suppression処理』という機能がコニカミノルタジャパン様により構築されました。『経時差分処理』とは、その名のとおりに現在の胸部単純X線画像と過去の画像を差分し可視化できる処理機能ということです。経過観察の際、病変の見落としを防ぐことが期待でき、縦郭や心臓裏、横隔膜など見落としやすい領域も表現可能という説明をいただきました。『Bone Suppression処理』とは、和訳で『骨を隠す処理』を意味します。この処理により肺野内に存在する鎖骨/肋骨の信号成分を推定し、減弱できます。期待される効果として、鎖骨/肋骨と重なり見落としやすい病変がみつけや



すくなる。肋骨/肋骨下の複雑な肺紋理の構造が理解しやすく、血管/気管支を追いやすい、肺野全体を俯瞰でき、びまん性肺炎等の広がりを認識しやすく、新規病変も見つけやすいなどがあげられました。以上、二つの処理機能を活用することで、読影時間の短縮、視認性の向上。確信度の向上が効果として期待されます。また、これらの画像処理は他社CR/FPD画像や画像条件でも、処理可能というメリットもあると説明をいただきました。医療技術は日々進歩していると感心すると同時に、我々診療放射線技師も医療従事者として日々の勉強を怠ってはいけなと改めて実感した大変有意義なご講演だったと思います。

最後になりましたが、講演していただいた紀先生をはじめ、今回の会場を提供していただいた佐野市民病院の方々、参加していただいた会員の方々に感謝申し上げますとともに次回も多くの方の参加をお待ちしております。

第4地区連絡員 原 口 尚 徳

報告

開催報告

平成28年度 第2回 第5地区卒後教育講座 開催報告

■開催日時：平成29年 2月16日(木) 18:30～

■会場：とちぎメディカルセンターしもつが 2階 講堂

■参加人数：19名

■内容：東芝最新CT情報 AquilionONE GENESIS テクノロジー

東芝メディカルシステムズ株式会社 関東CT担当 天野 清香 先生

第2回第5地区卒後教育講座が2月16日とちぎメディカルセンターしもつが2階講堂で開催された。19名の会員が参加し盛況に行われた。

今回の講演は東芝メディカルシステムズ株式会社、天野清香先生による「東芝最新CT情報 AquilionONE GENESIS テクノロジー」について最新技術が講演された。

講演内容

- ①寝台が42mm×42mm左右高さが計画時移動でき撮影できる
- ②チルト角度が30度まで可能
- ③チルトヘリカル撮影が可能
- ④撮影範囲をエリヤファインダー機能によりスキャノ像が不要に
- ⑤バリエابلピッチによるヘリカルピッチの2回切り替えが可能
- ⑥心電同期により連続から間欠の2種類の撮影が可能
- ⑦低線量カットにより被ばくが約半分に低減

今後最新のCTによる検査の向上、被ばくの低減が進むことが考えられるが、最新CTを使いこなせるよう診療放射線技師の個々の能力を上げ、メーカーと協力し国民被ばくの低減に努めていきたい。



第5地区理事 斉藤 稔

事務局報告



会の動静

平成29年

- 1/16 会誌108号発行
- 1/26 第3回理事会（獨協医科大学病院）
- 2/ 4 第2回第2地区卒後教育講座（獨協医科大学病院）
第2回第4地区卒後教育講座（佐野市民病院）
- 2/ 9 栃木県生活習慣病検診等管理指導協議会がん検診委員会
〈小黑会長〉（栃木県立がんセンター）
第2回第3地区卒後教育講座（済生会宇都宮病院）
- 2/16 第2回第5地区卒後教育講座（とちぎメディカルセンターしもつが）
- 2/17 第2回第1地区卒後教育講座（国際医療福祉大学）
- 2/18 第5回業務執行理事会（本会事務所）
- 2/20 第12回学術研究発表会抄録集発行
平成29年・30年度役員選挙公示
- 3/ 5 第12回学術研究発表会・第3回卒後教育講座（獨協医科大学）
第4回理事会（獨協医科大学）
- 3/ 8 国際医療福祉大学学位記授与式（樋口理事）
国際医療福祉大学学位記伝達式（小黑会長）
- 3/31 会員数449名
- 4/ 3 国際医療福祉大学入学式（樋口理事）
- 4/ 8 監査会（本会事務所）
第1回業務執行理事会（本会事務所）
〈小黑会長・茂木監事・神山監事・柳沢副会長・福田副会長・
牧島理事・金田理事・吉成理事・須藤理事〉

■平成29年度 活動予定表

平成29年

- 4/ 8(土) 監査会
第1回業務執行理事会
4/20(木) あすたーとVol.41発行
4/24(月) 第1回理事会
4/27(木) 平成29.30年度役員立候補・推薦立候補の届出締切
5/27(土) 第1回卒後教育講座
第93回定時社員総会、勤続20年・35年表彰式
平成29・30年度役員選挙
第2回理事会
5/28(日) 診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー
6/ 2(金) 日本診療放射線技師会創立70周年記念式典
6/ 3(土) 日本診療放射線技師会定時総会
6/10(土) 第2回技師長サミット
6/24(土)・25(日) 平成29年度関東甲信越診療放射線技師学術大会(長野)
7/13(木) 第2回業務執行理事会
7/16(日)・17(月) 第5回業務拡大に伴う統一講習会
8/10(木) あすたーとVol.42発行
9/ 7(木) 第3回業務執行理事会
9/17(日)・18(月) 第6回業務拡大に伴う統一講習会
9/22(金)～24(日) 第33回日本診療放射線技師学術大会(函館)
9/30(土) 会費納入期限
10/29(日) 診療放射線技師基礎技術講習「X線CT検査」
11/11(土) 第2回卒後教育講座
第3回理事会
12/ 9(土) 第4回業務執行理事会
平成30年
1/ 7(日)・8(月) 第7回業務拡大に伴う統一講習会
1/ 9(火) 会誌109号発行
1/18(木) 第4回理事会
2/19(月) 第13回学術研究発表会抄録集発行
2/22(木) 第5回業務執行理事会
3/ 4(日) 第3回卒後教育講座・第13回学術研究発表会
第5回理事会

■ご報告

第69回 診療放射線技師国家試験 結果発表

平成29年2月23日(木)に実施されました第69回診療放射線技師国家試験の全国の結果は次のとおりです。

- ◆ 受験者数：2,939人
- ◆ 合格者数：2,511人
- ◆ 合格率：85.4%

■ご案内

平成29年度 関東甲信越診療放射線技師学術大会

- 会 期：平成29年6月24日(土)～25日(日)
会 場：長野市若里市民文化ホール
(長野市若里3-22-2)
実 施：一般社団法人 長野県診療放射線技師会
参加登録：大会ホームページより事前登録
(平成29年6月1日まで)
[事前登録] 3,000円(正会員)
[当日登録] 5,000円(正会員)
7,000円(非会員)

*学生の参加は無料

*懇親会会費は事前登録6,000円、当日登録8,000円

*詳細はホームページをご参照ください。

■ご案内

第33回 日本診療放射線技師学術大会

- 会 期：平成29年9月22日(金)～24日(日)
会 場：函館市民会館・函館アリーナ
(函館市湯川町1-32-1)
主 催：公益社団法人 日本診療放射線技師会
実 施：一般社団法人 北海道放射線技師会
参加登録：[事前登録] (平成29年7月31日まで)
8,000円(正会員) / 12,000円(非会員)
[当日登録]
12,000円(正会員) / 18,000円(非会員)
(学生の参加登録は2,000円)

*詳細はJART4月号またはホームページをご参照ください。

■ご案内

メーリングリストへのお誘い

栃木県診療放射線技師会ではリアルタイムの情報発信を会員の皆様方に提供するため、メーリングリストでの情報発信を随時行っております。

登録は、栃木県診療放射線技師会HP

<http://www.tartnet.com> ⇒ 「会員及び関連の方はこちら」の「TartMLに参加しよう!」をクリックしてみてください。

たくさんの参加登録をお待ちしています。仕事上での疑問、質問も投稿するといろいろな方の答えが聞けて役に立ちますよ!!

一般社団法人栃木県診療放射線技師会

あすたーと

2017
Apr.

Vol. 41

編集・発行

発行人 小 黒 清

一般社団法人 栃木県診療放射線技師会
〒320-0032 宇都宮市昭和1丁目13番10号
栃木県庁舎西別館404号

TEL・FAX 028-625-7979

銀行振込: 足利銀行本店 (普通) 1785921

郵便振替: 00340-3-35730

URL <http://www.tartnet.com/> E-mail tart@ce.mbn.or.jp